

国防は最大の
福祉である
初代会長 高橋季義



國の支え

中井信夫元大阪府議会議長

関西防衛を支える会
(略称・関防会)
〒541-0041
大阪市中央区北浜4-2-13
淀屋橋今西ビル3F
TEL 06-4256-4868 FAX 06-4256-4869
発行人 高橋忠義
編集人 小野元裕
印刷所 (株)新聞印刷

第75号
(夏季号)
平成30年7月1日(日)
(皇紀2678年)
(大正紀元107年)
(昭和紀元93年)

会長就任挨拶

会長 高橋忠義

第21回定期総会(4月22日)において、濱野晃吉会長の後任として、第3代会長に選任された高橋忠義です。微力ながら、我が国の防衛および自衛隊の支援団体の長として最善の努力を尽くす所存でございます。皆様方には今後より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



「関西防衛を支える会」(以降、関防会)は本年で創立20周年を迎え、その記念となる祝賀会をクルーザー「神戸コンチエルト」で実施いたしました。音楽演奏者等を含め350人を超えるたくさんの皆様にご参加いただき、盛会のうちにパーティーを終えることができました。お越しくださった自衛隊幹部の皆様、大西宏幸衆議院議員(夫妻)、宇都隆史参議院議員(夫妻)、山田賢司衆議院議員(代理)、西村眞悟元衆議院議員をはじめとする関防会会員の皆様やそのご紹介の方々に対し、不手際が多々あったかと思いますが、お祝いの席に免じてご容赦くださいますようお願いいたしますとともに、改めて御礼申し上げます。また、神戸コンチエルトを全船貸し切りで提供くださった株式会社神戸クルーザーの南部会長、祝賀会を盛り上げてくださった陸上自衛隊中部方面音楽隊ブルーエコーズをはじめとする出演者の皆様、パーティーの準備に当たった実行委員の役員に対し、この場を借りて衷心より感謝の意を表したいと存じます。

我が国を取り巻く安全保障環境は、戦後最も厳しい状況にあると言っております。昨年12月にトランプ

5項目を重点実施

プ米大統領が発表した国家安全保障戦略には、ロシアと中国を「修正主義国家」、北朝鮮とイランを「ならず者国家」と指定して、これらの国々が世界の秩序を乱す根源となることに懸念を表明し、これらに対処していく方針が示されています。このうち3カ国が我が国周辺にあることから、我が国は米国のとともに安全保障環境の悪化を押しとどめていく必要があると見做されています。北朝鮮の核兵器や長距離弾道ミサイルの開発問題、それに絡む米朝会談の行方、中国の膨張主義が南シナ海や東シナ海において顕在化している問題など、決して平時とは言えない状況、すなわちグレイゾーンにあることを自覚しなければなりません。このような中において、安全保障問題は与野党を超えて取り組むべき最重要課題であるにもかかわらず、国会では政権や行政のスキームの追求などに終始し、この課題に熱心に取り組んでいると追求は困難な状況です。関防会が創立当初から「国防の復興に真摯に取り組んでいる国会議員を応援し、共に活動してまいります。私は自衛官出身なので、現役時代には政治に関わることはありませんでした。しかし、この国を守る唯一の方法は、国会において健全な議論を重ね、防衛関係の法律や予算を策定していくことだと常々考えておりました。そのためには、思いを同じくする方々との連携が不可欠です。この機会に、会長就任に当たっての所信を述べたいと存じます。

故高橋初代会長、第2代濱野会長(現名誉会長)の意志を引き継ぎ、諸先輩方の築き上げてきた伝統を継承しつつ、真に自衛隊の支えとなる会として、関防会を発展させていきたいと思っております。

そのために、これまでの活動に加え、次の5点について実施していきたく考えています。

1. 自衛隊に対する支援
とりわけ、自衛隊が最も困難に直面している自衛官募集について、各府県の地方協力本部と連携し、会員一丸となって募集支援活動をしていきたいと思います。また、自衛隊に入ったばかりの隊員の皆さんに対して国民が期待していることを直接お伝えする活動も実施して参りたいと存じます。さっそく、去る6月7日に会員40人とともに陸上自衛隊姫路駐屯地に行き、新隊員の激励を実施して参りました。加えて、自衛艦が関西地区の港に入港する際には、会員の皆様とともに入港歓迎と出港見送りを実施していきたく存じます。
2. 会勢拡大
現在、700人弱の会員に在籍いただいておりますが、これを1,000人まで拡大していきたく目標を掲げております。会員の皆様には、お知り合いをお誘い

いただき、会勢拡大にご協力いただきますようお願いいたします。また、陸上自衛隊の三師団隷下のすべての駐屯地及び三重県下の駐屯地、海上自衛隊阪神基地隊および隷下部隊、舞鶴在籍部隊、航空自衛隊奈良基地及び関西地区の5つの分屯地の行事に積極的に参加させていただき、それぞれの地域の皆様に関防会の活動を理解していただくことを考えています。重ねて関西地区の自衛隊支援団体との交流、連携を強化し、会勢拡大につなげて参りたいと存じます。

3. 慰霊・顕彰活動
我が国は、戦後一度も戦火にまみれることなく、平和に経済発展を続け、世界でも有数の豊かな国になりました。私たちがその礎となった多くの戦没者の英霊に感謝し、永久に慰霊・顕彰していかねばなりません。特に若い世代に顕彰の意義を伝えていくことが大事だと思います。これまでも関西地区で行われている慰霊祭に参加するとともに、海外における慰霊・顕彰も5回行ってまいりました。これらの活動をさらに積極的に実施して参りたいと考えています。去る5月27日に京都霊山護国神社で行われた関西白鷺遺族会が主催する慰霊祭に、関防会として初めて、会長代理を参加させ、また司会者を派遣しました。加えて、舞鶴の海上自衛隊第23航空隊司令官にお越しし、軍艦旗掲揚のためのラップ隊と掲揚員を派出いたしました。これら慰霊祭は今までは役員が中心に出席して参りましたが、今後は広く会員の皆様にも祭事予定を通知しますので、ぜひご参加いただきたくお願いいたします。
4. 会員相互の融和・親睦を図る事業を推進
これまで同様、バーベキュー大会やカラオケ大会、忘年会、バスツアーなど、さまざまな行事を行っていきたく存じますので、日程の都合をつけて、ぜひご参加ください。
5. 表彰
会の発展に貢献した会員、個人、団体等に対して、感謝の意を表するための表彰を行っていきたく存じます。特に、関防会発足以来20年、会の発展・運営に力を尽くしてくださった役員の方々には、心から感謝したいと存じます。

以上、会長として会を運営していくにあたり所信を述べさせていただきますが、これらを推進していくためには、会員の皆様のご理解とご支援が不可欠です。そして、なんと言っても、会の運営を完全ボランティアで務めていただいている役員の方々の力がなくては実現しません。会員の皆様の中で、この会の発展によりお力を貸していただけたら幸いです。ぜひ、役員にご就任いただけたら幸いです。

最後に申し上げますが、今(このときも)、黙々と任務に就いておられる自衛隊員に対して心から敬意と感謝を申し上げますとともに、会員各位、関係諸団体の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、就任挨拶とさせていただきます。

創立20周年船上祝賀パーティー



4月22日、関西防衛を支える会創立20周年船上祝賀パーティーが神戸コンチエルトにて行われた。当日は曇りつつも快晴の1日で、天候も創立20周年を祝福してくれているようだった。午後19時30分〜21時30分の2時間のクルージングだったが、来場者は総勢350人と非常に賑わいを見せていた。

船の中ではまず関西防衛を支える会20年の歩みがスライドで上映。懐かしさを感じる人、新鮮さを持って見る人等様々な顔ぶれがあった。

続いて、コンチエルト内の各デッキではそれぞれ趣向を凝らした催しがなされた。コンチエルトはAデッキ

キからDデッキまであり、乗船口であるCデッキを除く各デッキでステージを開催。4月下旬とはいえず、日没になるとまたまた肌寒さを感じる季節。しかしそんな肌寒さも吹き飛ばすような

(2面に続く)

第74回	関防会の歴史勉強会 中島サロンのご案内	担当 菊池哲也、土谷陽子	第75回
日時	平成30年8月11日(土曜日) 午後4時から	日時	平成30年10月13日(土曜日) 午後4時から
講師	陸将補 梅田 将氏(自衛隊大阪地方協力本部長) 神奈川大学(法学部)卒(防大第33期相当・生徒25期)	講師	山村ゲンコウ氏・山口采希氏 山村ゲンコウ:1975年6月13日生まれ。大阪府出身。音楽レーベル「フィズミュージック」を主宰。ミュージシャンとしても活動中。シンガーソングライター山口采希のマネジメント兼サポートギタリスト。 山口采希:1991年4月16日生まれ。大阪府出身。歌手。ライブハウスに留まらず、神社や自衛隊駐屯地・基地などでも幅広くライブを行い、2016年産経新聞PRモデルとしても活動中
演題	最新軍事技術とサイバー戦	演題	歌詞に見る明治・大正・昭和史
会費	5,000円(含む飲食代)	会費	5,000円(含む飲食代)
学生会	2,000円	学生会	2,000円
会場	錦城閣 ☎06-6941-2185 地下鉄谷町線、京阪電車天満橋駅直上 キャッスルホテル3F(中国料理店)		

熱いステージが繰り広げられた

●パソコン・スマホで写真閲覧出来ます●

「関西防衛を支える会創立 20 周年記念船上パーティ」

<http://30d.jp/taka-chu/39>



ご覧になるには合言葉が必要です。合言葉は、事務局までお問い合わせください。



船内ではジャズ演奏



デッキではポップス演奏

(1面から続き)

熱いステージが繰り広げられていた。各デッキの催しは次の通り。
Aデッキでは越野翔子さん、山口采布さんがポップをテーマにしたステージを演出し、迫力ある歌声で盛り上げをみせていた。
Bデッキでは「神戸といえはジャズ」ということで高橋リエさん、クリス・チャリさん、永田有吾さんがジャズナイトを盛り上げた。

Dデッキは音楽隊とフラメンコの世界がテーマ。音楽隊は陸上自衛隊中部方面音楽隊「ブルーエコーズ」のメンバーが、フラメンコは弘いみさんが素晴らしいパフォーマンスを披露した。素敵なステージに加え、景色を見渡せばライトアップされた明石海峡大橋や遠くには神戸空港も眺めることができ、幻想的な空間に酔いしれる方も少なくなかった。美しく彩られた明石海峡大橋付

近を通過する際には、オープンデッキにいる人から大きな歓声もあがっていた。船内では来場者が、自衛隊員や会員同士で盛んに交流を行っており、活気と熱気に満ちていた。これだけの人が一堂に会する機会は多くないので、2時間という限られた時間ではあったが、有意義な時間になった。
2時間のクルージングを終えて高橋忠義会長の閉会の挨拶と来場者への謝辞により船上パーティーは和やかな雰囲気のままお開きとなった。当日は関西防衛を支える会会員以外の人も多く来場した。創立20周年船上祝賀パーティー以降、新規の会員申し込みの方も増えている。



踊る高橋忠義会長(左)

復興支援活動」の一部として自衛隊が参加することになった。私はイラク復興支援の群長であり、約600人の隊員たちと平成16年2月に現地に行った。北海道にある原隊出発当日の朝、気温がマイナス24℃、クウェートの空港に到着したときは40℃くらいあった。気温差で人は問題がないが機械・装備が変調をきたすこともあり、しばらくクウェートで準備をしてイラクに入った。

平成16年2月28日朝8時、イラクに初めて日の丸を掲げたことは最も忘れられない思い出である。現地ではオランダの宿営地を借りて作業し、4月1日には、砂漠の中に周囲1kmほどの街と同じような居住区、整備工場、食堂、事務所などいろいろなものがある宿営地を作った。電気や通信のインフラ整備も行った。医療支援では現地の医療水準が低いため、その医療技術や機材の支援をしながら、病気になる人たちの治療の応援や衛生指導をした。その結果、自衛隊が来たあとは現地の新生児の死亡率が1/3になった。ユーフラテス川沿いの水は塩やばい菌が入ったウーロン茶のような色の水なので、それを汲んで飲んでる現地の人々は病気になる

てしまう。現地の人達は毎日40℃50℃の気温の中で安全な飲料水を確保することが重要であり大きな課題であった。給水支援では、これを解消すべく、この川の水を浄水して提供した。公共施設の復旧・整備においては、学校などは粉々で一部は軍事施設として使われていたが、それをどうするか重要な課題であった。人道支援・復興支援という任務で働いているが、加えて、戦後で荒んでいる人びとの気持ちをどうやって未来に向けて、やる気を出して頑張ってもらえるかということも考えた。間接的な支援では、未来を担う子供たちに頑張ろうという気持ちを持ってもらおうと、音楽隊が文化演奏会をしたり、部長以上に自衛隊の活動を説明して一緒に復興をしようという話をした。5月5日には子どもたちのためにユーフラテス川にワイヤーを張って泳ぐのを泳がせた。このような活動の中で、「日本の方々と一緒に我々の平和な街を再建しよう」と書かれたのぼりと日の丸を持って支援隊も数百人が来た。思いもよらないことだったが、その後も支援隊も何度か続いた。イギリスの世論調査会社が行った調査で「この国にイラクを支援してほしいのか？」というアンケートでは1位が日本、2位アメリカ、3位フランス、4位ドイツ、5位イギリス、6位国連であった。日本国内のメディアの世論調査では決して賛成は多くはなかったが、現場では抜群の評価をいただいた。

第21回定時総会記念講演 番匠 幸一郎氏 (元陸上自衛隊 西部方面総監)

最近の北朝鮮や中国の情勢など日本を巡る環境を整理して考えていきたいと思います。

戦略環境について、日本列島は地図上でどのような場所にあるのかというと、北はロシア、中央は朝鮮半島、南は東シナ海・中国・台湾と3つの大きな大陸からの力に向き合ってきた。7世紀の白村江の戦いや、元寇、大戦の末期も終戦にもかかわらずロシアの侵攻で9月に国後・択捉まで攻めてこられた。日本は大陸とのこのような関わりは現在でも同じ環境である。地理的に日本列島は大きく、国後・択捉から与那国島までの総延長は3500kmもある。これはヨーロッパのスカンジナビア半島から北アフリカまでの距離に相当する。島の数は700

0近くあり、海岸線の距離は世界で6位と言われている。排他的経済水域を含めた面積は世界中で6番目に大きな領域であり、これを日本は守らなければならない。このように日本がユーラシア大陸と太平洋の戦略的に重要な位置にあるため、ロシア、北朝鮮、中国は日本のことを邪魔だと感じているはずである。

大東亜戦争が終わった後すぐに冷戦が始まったが、その後、湾岸戦争起こり、同時多発テロが起こってテロとの戦いが始まり、イラク戦争が生じた。

日本は14年前に、イラク戦争後の支援活動に参加することになった。「イラク復興支援特別措置法(平成15年7月26日制定)」に基づいて行われたイラクにおける人道

日報問題について、少し言及したい。現地の隊員は命を懸けて頑張っていたのに、今回の件によって、隊員たちは心を痛めていると思う。当時隊員は日本の代表として派遣されたわけであり、隊員たちの名譽や誇りは変えていけないと思う。また、日報というものは歴史の資料と思って毎日書いていた。世界中のこの軍隊でも大東亜戦争の時も日露戦争の時も、軍事組織はその時に

起ったことをきちんと記録することがルールである。それを破棄したということが本当にあっていいのかわからない。それと言葉というものをあまりにも厳格に捉えないでほしい。例えば「戦闘」という言葉を例に挙げると「戦闘服」「戦闘着」「戦闘訓練」「戦闘帽」など自衛隊は実戦を中心とする言葉を使わなければならない。したがって、その言葉自体が否定されることがあってはいけないので、もう少し幅広く解釈して欲しいのである。

朝鮮半島のことだが、ちょうど去年の2月中旬に、金正恩がクアラルンプールの空港でVXガスを使って実の兄を暗殺するという事件が発生した。10月中旬には、板門店の軍事境界線で北朝鮮軍人が亡命してくる事件が発生した。例年にならぬ北朝鮮軍艦が日本海から北海道あたりに漂着した。これらのことは北朝鮮に何か異常があったのではないかと疑わせる事象である。

4月15日、金日成生誕150年パレードでは例年になく、自走砲(対空用)、特殊部隊、弾道ミサイルなど様々なものを見た。去年、11月19日に撃った火星15はロシアテッド軌道で日本海に落下した。通常の軌道では1万3400キロ飛ぶミサイルであり、ICBM(大陸間弾道弾)の技術を取得したのではないかと言われた。金正恩は「これで我々は核、ミサイル技術を獲得した」と宣言し、9月3日には水素爆弾実験をした。反対に、アメリカは去年、シリアに対して59発のトマホークを撃った。原子力潜水艦を近くに出動させたり、11月には日本海に3隻の空母を出動させ、また、B-1戦略爆撃機が日本上空から朝鮮半島に飛行して自衛隊や韓国軍と訓練し抑止方



熱心に聞く参加者

東アジアの戦略環境と日本の安全保障



データを示しながら講演する番匠幸一郎氏

を見せつけた。このような軍事的プレッシャーと厳しい経済制裁の結果、今年の1月に北朝鮮の態度が変わってきた。今年の元旦、金正恩は「我々は核ミサイルを保持した核大国であり、これを美戦配備し増産する」と発言する一方で、「韓国」で平昌オリンピックがあり、民族の祭典として南北は、よく話し合って協力していく」として、「それらを土台に経済を再建していく」と述べ、核、南北融和、経済の3つのことを宣言し、融和政策を打ち出した。これは、経済的にも軍事的にも、これ以上プレッシャーに耐えきれないため、なんとか国連の経済制裁を緩和させようとするもろみがあったのではないかと考える。

先週は安倍総理がアメリカに行き、トランプ大統領との日米首脳会談が行われた。ここで日米が一体となって北朝鮮に強い圧力をかけていくことが約束された。拉致問題の解決に向けても確約された。このとき、すでに北朝鮮は核実験やアメリカ力まで届くようなミサイルの実験もやめると発表していたが、これにだまされてはいけないと思っただけ。実験をやめると言っても核を持つことをやめるとは一言も言っていないし、検証できない限り信用すべきではないからである。

いよいよ今月末には文在寅大統領と金正恩が板門店で南北首脳会談を行うことが決定された。5月末から6月にかけては米朝首脳会談が実施されるということが言われている。最近アメリカはいくつかの安全保障戦略を打ち出した。今年の1月には国家防衛戦略が出た。それは、中国とロシアに対して、しっかりと備えるのだというのが1つ。2つ目は北朝鮮とイランがならず者国家であるという点。核の開発は決して許されることではなく、これについては絶対に妥協しないということを明確に言っている。また、ポンペオ氏やボルトン氏といった強硬派の人たちが大統領の近くの安全保障スタッフとして着任したというのもメッセージになっていると思う。

もう一つロシアも油断できないところがある。最近彼らはマツア島に拠点を持つようになってきている。北方領土を含めて千島列島一帯を軍事的に強化しようとしている。今日日本

いろいろ申し上げたことを整理したいと思う。まず一つは北朝鮮問題の本質であり、それは北朝鮮が依然として核とミサイルの開発を続けていることを忘れてはいけないということだ。2つ目は朝鮮半島の非核化。いろいろ申し上げたことを整理したいと思う。まず一つは北朝鮮問題の本質であり、それは北朝鮮が依然として核とミサイルの開発を続けていることを忘れてはいけないということだ。2つ目は朝鮮半島の非核化

な北朝鮮の非核化なのであり、私たちが求めるべきなのは北朝鮮の非核化である。3つ目は限定的に容認せざるを得ないのではないかと議論だ。アメリカの中でもICBMは困るが中距離や短距離弾道ミサイルについてはアメリカまで届かないからいいのではないかと。う人もいるが、これは日本にとって最悪のシナリオだ。限定的容認など絶対にあってはならないことだ。4つ目は完全に検証可能で不可逆的な非核化だ。これが条件。日本とアメリカはこの点において100%一致している。我々はいささかも態度を変える必要はないと思っ

中国についても話をしたいと思う。経済的には日本と中国は友好関係を維持すべき大切な隣国だと思うが、軍事的には心配なところが多々ある。1つは軍事予算。日本と中国の防衛予算を比較すると、中国の上り方は異常だ。尖閣の領海に侵入した中国の工船の数は、2012年9月、日本が尖閣の国有化をしたその瞬間から一気に増えており、この数はなかなか下がっていない。航空自衛隊のスクランブル発進はここ10年ぐらいで回数が増え、29年度の1168回というのは過去最高であり、その8割近くが中国の航空機に対するものである。南シナ海についても周知の通り大変困ったことになっている。彼らは人工島を作って南シナ海の支配力を強めようとしており、この軍事的かつ挑発的行動を我々はとても看過できない。

冷戦の間は北の方を守る体制を取ってきたが、南の方というは今やと始まったばかりである。本州と同じ大きさの当たる九州から沖縄に至る南の方をどのように守るかは非常に重要である。そのために南西諸島において部隊を建設しようという動きがあるし、すでに動いているところもある。日米同盟を中心として、日本とアメリカが手を携えてやっていくということが大事である。今日は皆様をお願いしたいことがある。隊員たちを大事にしたいということ。よりの多くの若者たちを自衛隊員の仲間として入隊させていたきたいということである。隊員たちは国の宝であり、こういう人々を少しでも増やそうが国の支えとなるのである。平和や安全という言葉があるが、これは与えられるものではなく作るものである。努力の結果、何も無い状態であることが一番いい。何も無い状態というのは、相手が悪さをしないように抑止をし、彼らにその気持ちを断念させるということの積み重ねだろうと思う。

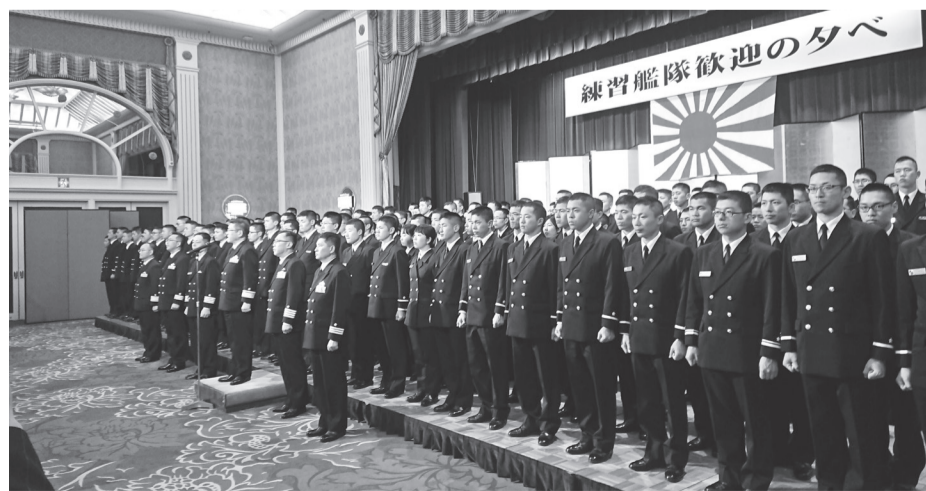
日本は素晴らしい国だと思う。我々は先輩方が築いてきたこの素晴らしい日本を次の世代に引き継いでいく役割を担っているのだと思う。防衛を担っている隊員たちをぜひ大事にし可愛がってほしい。それがひいては、この国をさらに勢いづけ盛り立て、良い国にしていくことに繋がっていくと信じている。



戦艦大和・第2艦隊慰霊祭に演野名善会長夫妻、高橋会長、古澤広報部長、中村総務部長、保口事業部副部長、山田会員、古谷会員参列 (4月7日)



1.17犠牲者追悼、東北・九州復興支援特別演奏会に関防会68人参加(3月16日)



練習艦隊歓迎の夕べ、シェラトン都ホテル大阪にて (3月19日)



練習艦隊入港歓迎行事 (3月19日)



和歌山駐屯地創立 56 周年記念行事に関防会初参加 (5月 20 日)



和歌山駐屯地創立 56 周年記念行事に関防会初参加



第4護衛隊群司令福田海将補を囲んで護衛艦「かが」入港歓迎行事(5月19日)(天保山岸壁)



護衛艦「かが」出港見送り (5月 21 日) (天保山岸壁)



久居駐屯地開設 66 周年記念行事に関防会初参加 (4月 15 日)



第3師団創立 57 周年・千歳駐屯地創立 67 周年記念行事、雨天の中の訓練展示(5月13日)



第3師団創立 57 周年・千歳駐屯地創設 67 周年記念行事 (5月 13 日)



第3師団長から授与された感謝状(防衛基盤の育成)を持つ場廣海会員(左)と大畑可南子会員

前日の雨とは打って変わって晴天に恵まれ、皆さん意気揚々と大阪・神戸を出発しました。青野原駐屯地においては、新隊員の皆さんが歩哨の訓練をしているところを見学させていただきました。いつもは記念行事などで空砲の鳴り響く豪快な訓練を見学してありますが、今回は、基礎的で地味な訓練を見せていただきました。このような訓練を一つ一つ積み重ね

姫路駐屯地新隊員激励に参加して

爽やかな晴天のもと、合同慰霊祭が京都霊山護国神社で行われました。今回の慰霊祭では、高橋会長の仲介により、海自第23航空隊の村井3佐以下隊員の方々が軍艦旗の掲揚の為、参加されました。関防会からは会長代理として中村総務部長が司会者として私、小山が参加いたしました。初めての海

第六十八回関西白鷗遺族会・第四回一般社団法人関西零戦搭乗員会 合同慰霊祭に参加して

自隊員の参加により慰霊祭が凛とした雰囲気の中で執り行われました。中島サロンで講演をいただいた加藤昇様による奉納話「忠霊」は、95才のお年とは思えないほど素晴らしいお声で感動しました。関防会の慰霊顕彰活動に参加して、その重要性を改めて感じました。

て、実戦に対応できる技量と知識などを身につける必要があります。それは時間と努力がかかることがよくわかりました。新隊員の皆さんは、とても元気で洗練しており、泥々になりながら地道に訓練をしている若者を見て頼もしく、そして、この若者たちがこそが日本の宝だと感じました。激励いただいた私たちが、逆に元気をいただきました。小山みどり会員



姫路駐屯地新隊員激励 (6月7日)



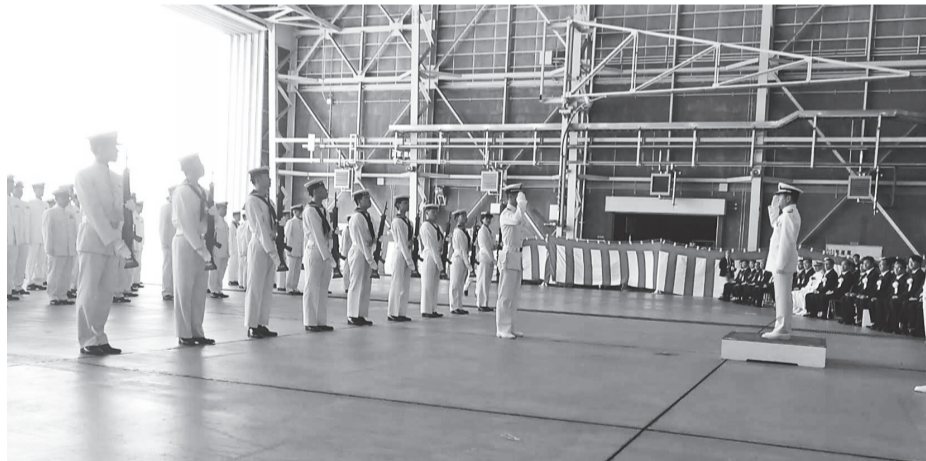
深緑をめぐる会(中部方面総監公邸)に高橋会長、中村総務部長参加(4月28日)



舞鶴航空基地開隊17周年記念行事に関防会初参加(6月9日)



関西白鷗遺族会慰霊祭(5月27日)



舞鶴航空基地開隊17周年記念行事に関防会初参加(6月9日)



青野原駐屯地創設42周年記念行事に関防会初参加(5月27日)



平成30年度奈良基地祭(6月2日)高橋会長、奥事務局長、古澤広報部長参加

●パソコン・スマホで写真閲覧出来ます●

「姫路駐屯地新隊員激励ツアー 2018.6.7」

<http://30d.jp/taka-chu/41>



ご覧になるには合言葉が必要です。合言葉は、事務局までお問い合わせください。

今回は「在米ユダヤ人」について述べましたが、今回は日本人とユダヤ人の出会いと友好について触れてみます。

日露戦争の戦費調達を支援したユダヤ人

日本人がユダヤ人と出会い、一般の日本人がユダヤ人の存在を強く意識することになったのは、日露戦争の時でした。

日露戦争は、近代化を進めつつあった明治時代の日本にとって、極めて大きな負担でした。なせ、相手のロシア帝国は、当時世界最大の陸軍国で、極東の小国と見られていた日本にとって、とても対等に戦える相手ではないと考えられていました。

日露戦争が開始された時期、日本の財政当局は、この戦争に必要な戦費は年間4億5千万円と見積もり、そのうち1億5千万円を海外で支払う必要であると計算していました。外国から軍艦、大砲、機関銃など多くの兵器を購入しなければ戦えないという状況でした。

ところが、当時の日本銀行の金庫には5千2百万円しかなく、どうしても日本国債を海外で引き受けてもらうしか方法がなかったのです。

わが国は、児玉源太郎という優れた戦術家を用いて戦争に対処しようとした。同時に高橋是清という優れた政治家(当時の日銀副総裁)を欧米に派遣して戦費を確保しようとした。

高橋は、明治37年(1904年)ニューヨーク

日本人とユダヤ人の友好

監事 山本賢一

とロンドンを訪問して日本国債を引き受けてもらうべく懸命に働きかけました。しかし、小国日本の敗北を予測する銀行家が多く、高橋の働きかけは円滑には進まなかったのです。

当時、外国為替の専門銀行だった「横浜正金銀行」のロンドン支店長は「ロンドンでの日本国債の募集は見込みがない。後進国日本

そんな高橋に救いの手を差し伸べたのは、クーン銀行の経営者だったヤコブ(シエイコフ)・シフというユダヤ人銀行家でした。シフは、帝政ロシアにおいてユダヤ人が差別され、迫害されていることに強い憤りを覚えていました。

なほ、シフは、ドイツ・フランクフルトの出身で、米国に移住した後、銀行家として成功した人物です。歴史書によりますと、シフがセオドア・ルーズベルト(当時の米大統領)に宛てた書簡には次のように書かれていたとのこと

「ロシアにおけるユダヤ人迫害は、中世にもなかった残酷なもので(中略)米政府としては20世紀の人道問題としてロシア政府に抗議すべきです」

シフとすれば、「悪の帝国」ロシアと戦う日本を支援し、ロシアのユダヤ人迫害を止めさせたいと考えていましたから、率先して日本国債の引き受けを行いました。そればかりでなく、欧米金融界にいる仲間の銀行家にも引き受けを促してくれました。その結果、約2億ドルの資金調達が実現

しました。さらに、シフは、ユダヤ系の銀行家に対して書状を送り、ロシア政府からの借款依頼を拒否するように強く求めました。

シフらの米国政府への働きかけ

シフのロシアに対する憎悪の念はあくまでも個人レベルのもので、米政府に対して日本を支援するよう働きかけたことには大きな意味があったのです。すなわち、もともと米政府、あるいは英国政府は地政学的な判断をしていましたから、北東アジアでのロシアの侵略に対しては強く警戒していました。

そこへシフたちの働きかけが加わり、米政府はウォール街の銀行家を説き伏せてでも日本国債を引き受けさせようという方針を出しました。

そのため、日本国債の募集は予想以上に進み、第1回、第2回ともに全額が払い込まれました。

第3回以降も順調に調達成功

いったん帰国した高橋は、翌年「政府特派財務委員」に任命されて、再びシフに面会を求めました。幸いなことに、ロシアとの闘いは日本にとって有利な状況となり、金融市場における信用力は前2回とは全く違っていました。

シフは、「希望の金額全額を引き受けましょう」と述べ、英米二国の市場で払い込みが可能となりまし

た。第4回目には、シフがドイツ金融界に働きかけて、

米英に加えてドイツでも日本国債を引き受けてくれました。

このように、日露戦争に必要な資金をユダヤ人銀行家の支援によって調達できた日本は、多くの犠牲を払いながらも、勝利することができました。

日露戦争の勝利を喜んだユダヤ人

15世紀の末に欧州列強が世界中に進出して以来、白人優位主義が蔓延しましたが、日露戦争において日本が勝利したことは、歴史的快挙と言えましょう。

日本の勝利に対して、ユダヤ人も大いに喜びました。イスラエル国歌を作詞した詩人・インベルは、日本の勝利をたたえる詩集を発行し、明治天皇に奉呈されました。

ヤコブ・シフへの感謝を表明した明治天皇

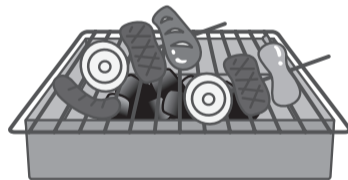
明治39年春、日本を訪れたヤコブ・シフに対して明治天皇は、皇居に招かれて熱くもてなされました。そして、日本政府は、勲二等旭日章を与えたのです。外国人でこの勲章を受けたのはシフが最初でした。

日本銀行も同様の手厚い歓迎会を催し、その席には大隈重信や尾崎行雄、渋沢栄一など有力者が多数参加したとのこと。

なほ、余談ながら申し上げますと、シフは、米国に帰国する際、高橋是清の娘と、当時15歳だった和貴子と同行し、シフのニューヨークにあった自宅に住ませ、三年間留学の機会を与えたということです。

◆バーベキュー(BBQ)大会

日時: 8月5日(日) 11:00~
場所: 鶴見緑地公園・バーベキュー広場
会費: 男: 3,000円
女: 2,000円
飲み放題、食べ放題 持ち込み歓迎



定員: 先着25人
自衛隊家族会京橋地区(地区長 井上勉)開催に合流
注) 場所は開催日の1カ月前に抽選となります。従いまして7月8日以降に電話、FAX(様式は自由)、Eメール(info01@kanboukai.jp)でお申し込み下さい。
事務局 TEL:06-4256-4868 当日連絡先 携帯:080-5707-5655
FAX:06-4256-4869 担当: 赤坂

◆カラオケ大会

日時: 8月19日(日)
午前11:00~17:00(終日貸切)
場所: パセラリゾーツなんば道頓堀店
会費: 5,500円(食事付き、飲み放題)
詳細はチラシでご確認ください



第4回優勝・高橋勲さん

◆航空自衛隊

岐阜基地研修旅行

日時: 10月26日(金)~10月27日(土)
(長良川パークホテル泊)
場所: 航空自衛隊岐阜基地他
定員: 40人先着順
会費: 30,000円
詳細はチラシでご確認ください。

会員の声を募ります

事務局へメールでお送り下さい
メールのない方は郵送でもどうぞ

ご入会のお願い

関西防衛を支える会では会員募集中です。ご入会ご希望の方は下記口座にお振り込み下されば、会員となります。

三井住友銀行守口支店
普通口座 1261314
口座名 関西防衛を支える会
郵便振り込み
口座番号 00960-2-137035
口座名 関西防衛を支える会
一般会員 年会費 3,000円
維持会員 〃 10,000円
法人会員 〃 20,000円
ホームページからの申し込みも可能です。
http://kanboukai.jp/

* 1口以上何口でも申し受けます。
銀行振り込みの場合は当会まで住所などご連絡下さるようお願いいたします。
(または振込用紙に電話番号を記入して下さい)
* 会計年度は4/1~3/31です

編集後記

さる5月20日海上自衛隊の誇る最大の護衛艦「かが」が大阪港にて一般公開された。愚息を伴い現地に向かったが、見学者の多さに驚愕した。船の中を見学するには2時間待たなければならぬとのこと。仕方なく外から「かが」を眺めた。ただ大阪港を後にした。これだけ多くの日本人が自衛隊に応援と親しみの情を持っていることに、国防の一員として嬉しさと心強さを感じた。

しかしながら、この大きな出来事を報じる新聞記事やテレビを見ていない。今もなお米国による占領期に



e-mail: info01@kanboukai.jp
HP: http://kanboukai.jp

関防会

検索